

みずほCustomer Desk Report 2020/03/19号 (As of 2020/03/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.46
TKY 9:00AM	107.40	1.1018	118.31	GBP/USD	1.2115
SYD-NY High	108.65	1.1045	118.40	AUD/USD	0.5988
SYD-NY Low	106.76	1.0802	116.92		0.6030
NY 5:00 PM	108.06	1.0917	118.00		0.5700
					0.5767
NY DOW	19,898.92	▲ 1,338.46	日本2年債	-0.170	2.00bp
NASDAQ	6,989.84	▲ 344.94	日本10年債	0.050	4.55bp
S&P	2,398.10	▲ 131.09	米国2年債	0.5367	4.22bp
日経平均	16,726.55	▲ 284.98	米国5年債	0.7895	5.49bp
TOPIX	1,270.84	2.38	米国10年債	1.1784	11.22bp
シコ日経先物	16,530.00	▲ 575.00	独10年債	-0.2345	20.25bp
ロンドンFT	5,080.58	▲ 214.32	英10年債	0.7865	23.40bp
DAX	8,441.71	▲ 497.39	豪10年債	1.1465	13.30bp
ハンセン指数	22,291.82	▲ 971.91	USDJPY 1M Vol	17.65	▲0.58%
上海総合	2,728.76	▲ 50.88	USDJPY 3M Vol	14.58	0.54%
NY金	1,477.90	▲ 47.90	USDJPY 6M Vol	12.43	0.30%
WTI	20.37	▲ 6.58	USDJPY 1M 25RR	-8.80	Yen Call Over
CRB指数	120.34	▲ 9.95	EURJPY 3M Vol	14.39	0.69%
ドルインデックス	101.16	1.58	EURJPY 6M Vol	12.86	0.96%

東京	東京時間は107.40レベルでオープン。前日の米国株式の上昇を受け、朝方は堅調な日経平均株価指数につれ、107.57まで上昇。しかし、買いは長続きせず、じりじりと下落する展開。終盤に日経平均株価指数、米株先物の下落幅が大きくなるとドル円は106.76まで下落。結局106.87レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.87レベルでオープン。昨日に続き、世界経済が景気後退入りするとの懸念から、ドル買い・円売りが進んだ。107.29レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2100レベルでオープン。欧州通貨売りが先行し、ポンドドルは一本調子で1.1828まで下落し、1985年以来の安値を更新。1.1918レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場で日経平均が下落する動きに、ドル円は106.76まで下落するが、その後はドル買いが強まったことから値を戻し、107.29レベルでNYオープン。朝方は米2月住宅着工件数が予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的だった。主に新興国中銀のドル売り自国通貨買いの市場介入によるバランスで、ドル買いが強まるとの思惑が強まる中、ドル円は108.09まで上昇。その後米金利低下を受け一旦下押しする局面もあったものの、ドル買いは継続し、108.65まで上昇した。午後に入り、米金融当局が緊急融資プログラムとして、CLO(ローン担保証券)を担保として受け入れとのヘッドラインが流れ、ドル買いが一服。107.75まで反落したが、その後再びドル買いが継続し、108.31まで戻し、108.06レベルでクロスした。尚、午前中米国とカナダの国境を一時的に閉鎖することが発表されたが、ドル円の影響は限定的となった。一方、海外市場のユーロドルは、ドル買いに上値の重い展開が続き、1.0977レベルでNYオープン。前述の通り、中銀のバランスによるドル買い先進国通貨売りの思惑に、ユーロドルは1.09を下抜けし、1.0895まで下落する。その後もEUが域内救済基金であるESM(欧州安定化メカニズム)を稼働させ、ユーロ圏諸国の政府向けに複数の信用枠を用意することを検討との報道が伝わる中、1.0802まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲は強く、1.0920まで戻し、1.0917レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 玉井・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月18日	08:50	日 貿易収支	2月 ¥1109.8b	¥929.5b
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	2月 0.2%/1.2%	0.2%/1.2%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	2月 1599k/1464k	1500k/1500k

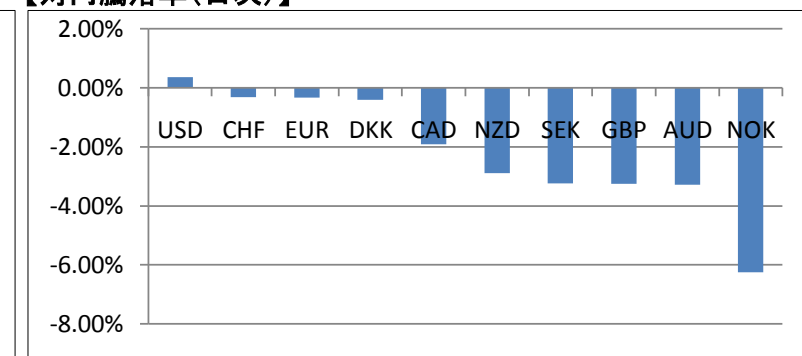
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月19日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	2月 0.5%/0.6%/0.7%	0.7%/0.8%/0.8%
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	2月 6.3k/5.3%	13.5k/5.3%
	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	3月 -	96.1/93.4/98.9
	21:30	米 フィデリティ連銀景況	3月 8	36.7
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	220k
				211k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】ドル需要の強さ

市場は1月末ごろからコロナウイルス一色で、各国の追加緩和や財政政策を受けても株式市場の下落は止まらず、ボラティリティの高い相場が続いている。しかし足元の下落率を見ると、ダウ平均株価が史上最高値をつけた2月12日と比べてダウ平均株価は▲32.7%、日経平均株価は▲30%に対しドル円は直近高値をつけた2月20日と比べても▲3.6%と、株式市場の動揺と比べると落ち着いているように見える。流動性こそ低いものの、ドル円相場が株式市場や金利市場対比落ち着いて見えるのには、ドル需要の高まりが背景にありそうだ。大荒れの展開が続く相場の中で、資金繰りのためのドル需要は高まっており、リスクオフムードの中、金相場が大きく下落したことも現金不足解消のための換金売りとの見方が出ている。かかる中、FRBは先日前倒しで実施されたFOMCにおいて主要中銀と協調しドル資金を供給することを決めた。これを受け日銀は週次でのドル資金供給オペにおいて3ヶ月物を追加したスケジュールを発表、3月17日から実施されている。それでもフォワードマーケットにおいてはドル調達意欲が強い状況が続いている。スポット市場においても、こういった背景からドル買い需要は相応にあり、相場を支えていると思われる。コロナウイルスの感染拡大自体は中国や韓国で感染拡大ペースの鈍化が見られている。専門家ではないのでウイルスについては不明な部分が多いが、どちらの国でも感染拡大が顕著になってから1ヶ月程度で鈍化してきていることを考えると、少なくとも欧州圏では今後1ヶ月程度、これからピークを迎えるであろう米国では2ヶ月程度感染拡大が続くであろう。2ヶ月とすると東京オリンピック開催可否の最終判断を迫られている頃であろう。オリンピックが後ずれするようであれば、日本経済に与える影響は小さくない。ドル円相場は落ち着いているというものの引き続き下落リスクに警戒する状況が続くそう。(玉井)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
8	12